

『現代河川工学—基本と展開—
自然と折り合う国土管理を支える知の体系』
正誤表

頁	行や図表番号など	誤	正
p.67	図-1.13 の図中説明	植生消長シミュレーションの対 となる～	植生消長シミュレーションの対 象 となる～
p.162	上から 4 行目	堤防が破堤による失われ,	堤防が破堤により り 失われ,
p.183	式 (4-10)	$\frac{1}{\rho} \left(\int_{z_b}^H \frac{\partial T_{xx}}{\partial x} dz + \int_{z_b}^H \frac{\partial T_{xy}}{\partial y} dz \right)$	$\frac{1}{\rho} \left(\int_{z_b}^{h+z_b} \frac{\partial T_{xx}}{\partial x} dz + \int_{z_b}^{h+z_b} \frac{\partial T_{xy}}{\partial y} dz \right)$
〃	式 (4-11)	$\frac{1}{\rho} \left(\int_{z_b}^H \frac{\partial T_{yx}}{\partial x} dz + \int_{z_b}^H \frac{\partial T_{yy}}{\partial y} dz \right)$	$\frac{1}{\rho} \left(\int_{z_b}^{h+z_b} \frac{\partial T_{yx}}{\partial x} dz + \int_{z_b}^{h+z_b} \frac{\partial T_{yy}}{\partial y} dz \right)$
〃	下から 3 行目	z_b : 底面の標高	z_b : 底面 (z 座標)
p.201	上から 11 行目	逆算粗度係数には,	逆算粗度係数は,
p.243	上から 5 行目	洪水規模大きくなったときの～	洪水規模 が 大きくなったときの～
p.245	図-5.12 のキャプション	代表粒径 d_R と関係図に～	代表粒径 d_R の関係図に～
p.249	上から 18 行目	河道形成システム～	河道形成 シ システム～
p.256	表-6.2 の右下	混合粒怪土砂の流送	混合粒 径 土砂の流送
p.267	図-6.7 のキャプション	文献 [28] の表 2.4-1 より	文献 [28] の 図 2.4-1 より
p.268	図-6.8 のキャプション	文献 [28] の表 2.5-1 より	文献 [28] の 図 2.5-1 より
p.294	図-7.10 のキャプション	図-1.14 の基本ケース	図-1.1 3 の基本ケース
p.311	図-8.8 のキャプション	～という考え方 ^[6]	～という考え方 ^[7]
p.312	図-8.9 の縦軸目盛り	3 2 1 0	1 2/3 1/3 0